

〔No. 22〕

次の a ～ e の文は，地図投影について述べたものである。明らかに間違っているものを全て含み，正しいものを含まない組合せはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

- a. 平面の地図上において，正角図法と正積図法の性質を同時に満足させることは，理論上は可能である。
- b. 地球上のあらゆる地点間の距離を同一の縮尺で一つの平面の地図上に正確に表示することは，理論上は可能である。
- c. 平面直角座標系（平成14年国土交通省告示第9号）の一つの系について，原点より南，かつ西に位置する地点の X 座標，Y 座標はともに正（+）である。
- d. ユニバーサル横メルカトル座標系（UTM座標系）では，必ず地球全体を経度差10°の南北に長い座標帯に分割し，各座標帯の中央経線と赤道の交点を原点としている。
- e. ユニバーサル横メルカトル座標系（UTM座標系）における中央経線と赤道の交点である原点から東西方向に  $\pm 100$  km以内の地域と，平面直角座標系における原点から Y 軸方向に  $\pm 100$  km以内の地域では，どちらの地域においても縮尺係数が 1 未満である。

- 1. a, c, d
- 2. b, c, e
- 3. a, b, d, e
- 4. a, c, d, e
- 5. a, b, c, d, e（全て間違っている）